

## 小松基地・空港対策特別委員会開催状況

1. 日 時 平成27年6月18日（木）  
午前 10時00分 開会  
午前 10時56分 閉会
2. 場 所 第2委員会室
3. 出席委員 灰田昌典委員長、新田寛之委員、梅田利和委員、片山瞬次郎委員  
宮川吉男委員、浅野清利委員
4. 欠席委員 川崎順次副委員長
5. 委員会の議題

(1) 調査事項 在日米軍再編に係る訓練移転について

(2) 報告事項 **【飛行場課】**

・小松飛行場周辺整備協議会新役員について

**【観光交流課】**

・北陸新幹線開業後の影響について

**【国際都市推進課】**

・北陸新幹線開業後の小松空港羽田便の状況について

(3) 閉会中の継続調査（審査）の申し出について

### 6. 委員長報告の要旨

先の定例会で、継続調査の議決をいただきました「飛行の安全」及び「飛行場周辺まちづくり」に関する調査について、閉会中も調査を続けてまいりましたので、本委員会での意見及び議論について、ご報告申し上げます。

**まず初めに、在日米軍再編に係る訓練移転としての日米共同訓練についてであります。**

今年度は、現時点において、全国いずれの基地においても、まだ計画もなく、実施されていないとのことであります。

訓練移転については、小松市民にとっては関心の高い事柄であることから、小松基地に関する訓練の実施についての情報が入った際には、速やかな情報提供を求めたところであります。

また、去る5月26日の小松飛行場周辺整備協議会総会において決定した今年度の新役

員についての報告がありました。今後も、周辺整備協議会として、騒音測定調査の実施や各種要望活動を行いながら、飛行場周辺地域の環境整備を促進し、地域の発展、福祉の向上を図っていくとのことであります。

**次に、北陸新幹線開業後の小松空港羽田便の状況についてであります。**

北陸新幹線金沢開業に伴い、民間航空会社においては、航空運賃の大幅な引き下げを行うとともに、機材を小型化し、1日12便を維持されております。

ビジネス需要、観光需要がともに減少しており、特に、平日のビジネス需要の減少が大きいのことであります。

今後の取り組みとして、県内在住者を対象とした航空と宿泊を組み合わせた旅行商品への助成制度や、空港駐車場料金の引き下げなどのPRの周知徹底、福井県嶺北地域への利用促進PR活動に努めていくとのことであります。

航空と宿泊旅行商品への助成制度が12月末で終了となることから、今後も、継続を含めた新たな利用促進策の企画について、県や小松空港協議会に対し、働きかけを行うよう求めました。

**次に、北陸新幹線開業後の影響についてであります。**

小松空港の利用者数は、3月14日から5月10日まで、国際線が23%増の一方、国内線が30%減となる中で、空の駅こまつの売上は17%増となっています。

季節の特産品や商品の販売方法の工夫、PR活動の結果であり、おおいに評価するものであります。

また、航空プラザでは、春休みに併せて1階展示場をリニューアルし、子供から大人まで楽しめる「乗りものフェスティバル」の開催による効果もあり、利用者数は8%増となりました。

また、航空プラザについては、今年度、石川県において、第2期の天井改修工事が計画されているとのことであります。

大型遊具が設置されているプレイエリアについては、安全性に十分配慮し、工事期間中の利用について検討するよう求めました。

以上、本委員会の「飛行の安全」及び「飛行場周辺まちづくり」に関する調査は、重要

かつ長期にわたるものであり、閉会中も引き続き調査研究すべきものと決した次第であります。